

# 学校だより



平成 29 年 4 月 28 日  
横浜市立二谷小学校  
校長 石川 秀子

## えをかく

学校長 石川 秀子

二谷小学校の校庭には 2 本の八重桜があります。1 本は淡くもう 1 本は濃い桜で、花が集まりたくさんの手まりが枝についているようです。4 月にはチューリップがプランターに咲きそろって、新しい学年になった子どもたちが思い思いに絵をかいていました。校庭や各教室で画用紙に向き合う子どもたちは誰もが真剣でした。色も花の形も背景も題名も一つとして同じものではなく、それぞれがクレパスや筆を動かすことを楽しんでいる様子が伝わってきました。

「まずはじめに じめんをかく」から始まる谷川俊太郎さんの作品「えをかく」は、様々なものがテンポよく次々に生み出されていきます。私はこの作品から、これから子どもたちが過ごす毎日の出来事や思いが積み重なって子どもたちの生活が形づくられていく様子を思い浮かべました。毎日の生活には楽しいことやうれしいことばかりではなく初めは気乗りがしなかったことも取り組んでみたらやりがいがあったり、嫌だったことに面白さを見つけたりすることもきっとあるに違いありません。学校は「まずやってみる」力や「あきらめずに取り組む」力を「友だちや周りの人とかかわりあう」ことで伸ばしていく場でもあります。

4 月末から家庭訪問が始まりました。各担任は保護者の皆様からのお話を楽しみにお伺いさせていただいております。保護者の皆様と連携し、子ども理解に努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

5 月には大型連休もあり、運動会に向けての活動が活発になってきました。新年度が始まって一ヶ月余りが過ぎて子どもたちにも疲れが出やすくなる時期でもありますので、安全に無理なくお過ごしください。今月もよろしくお願ひいたします。

4 月 23 日は子ども読書の日でした。読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにし、人生をより深く生きる力を身に付ける大切なものです。読み物だけではなく、新聞、雑誌などからも多くの情報や話題が引き出せます。ご家庭でも、お子さんと一緒に読書を楽しんだり、公共図書館を利用したりするなど、活字に親しむきっかけを作っていただけると幸いです。